

光葉同窓会メールマガジン

＜2025 年 8 月号＞

218 号 2025. 08. 01 配信

暑中お見舞い申し上げます。学園も 8 月は夏休み。海水浴や花火大会、高校野球と、子どものころは待ち遠しい長期休みでしたが、もとは明治時代に暑熱を避ける・お盆を家族で過ごすなどの理由から始まったそうです。旧暦では葉月と呼ばれ、初旬には立秋を迎えますが、言葉とは程遠い日が続きます。この厳しい暑さに負けないために、エアコン・睡眠・食事そして規則正しい生活が大切です。夏バテにならず、続けて秋バテにならないよう体調管理に気を付け、楽しい夏休みを過ごしたいものです。



(常任委員 小蘭江 園香)

■同窓会だより

◇光葉同窓会奨学金授与

光葉緑奨学金

7 月 11 日（金）、金尾朗学長と関係の学科長にご臨席いただき、光葉緑奨学金授与式を行いました。今年度は、北海道 3 名、福岡県 3 名、大分県 1 名、鹿児島県 3 名、高知県 1 名、宮崎県 1 名、愛媛県 2 名に授与を行いました。



◇ワーキングネットワーク イベントのお知らせ

「仕事に生かせる写真の撮り方・撮られ方」

プロカメラマンを講師に美しい写真の撮り方だけでなく、美しく撮られるコツを学びます。

【開催日時】2025 年 9 月 27 日（土）

【場 所】昭和女子大学 8 号館 1 階 グローバルラウンジ

【内 容】1 部 講演会 13:00～14:30

2 部 撮影会 14:30～15:00（先着 20 名）

【参加費】1 部のみ 500 円（茶菓付き）

1 部、2 部参加 1500 円（茶菓・撮影データ付き。データはダウンロード方式でお渡し予定）

【締め切り】9 月 12 日（金）

*2 部のみのご参加はご遠慮ください。

*お申し込みは QR コードから。



◇生涯学習 講演会

～昨年度に引き続き、本学理事長 山崎日出男先生の講演会のご案内をいたします～

【開催日時】2025 年 10 月 4 日（土） 13:30～15:00 （13:00 受付開始）

【テーマ】「紛争と平和構築」「トランプ就任以降の動き」

【場 所】昭和女子大学 1 号館 2 階会議室 【参加費】無料

【対象者】光葉同窓会会員とその家族・在学生・本学教職員

【申込〆切】9月26日（金）

【申込方法】FAX：03-3411-4066 E-mail：dousoukai@swu.ac.jp

件名に「生涯学習講演会」本文に①氏名 ②卒年 ③卒学科 ④連絡先（日中連絡可能携帯番号）を記載の上、光葉同窓会事務局に直接お申込みください。（QRコード）
定員先着30名です。申込み後、受付完了の返信を同窓会事務局からお送りします。

【問合わせ先】昭和女子大学光葉同窓会事務局 TEL：03-3421-7713



◇夏季休暇のお知らせ

8月2日（土）～17日（日）

◇お問い合わせ 光葉同窓会事務局 03-3421-7713 E-mail：dousoukai@swu.ac.jp

10:45～16:15（土・日・祝日除く）

■広げよう光の葉



秋里好美さん

1973年 食物学科卒

1973年に短大の食物学科を卒業し、2025年3月には慶應義塾大学の通信教育課程を卒業致しました。現在72歳です。通信課程の卒業率は3%と非常に難しいことでしたが、気持が沈み息苦しくなることが多いこの世の中であって、勉学を続けていけば道は開けて人生が豊かになり、楽しくなるということを実感いたしました。いくつになっても今の世の中は学びの場があり、有難いことです。

慶應義塾大学の通信教育課程では80代の人も勉学に励んでいます。その学びの舎で私は、この年齢になって知的で楽しく、とても素敵な仲間たちに出会うことができました。「意思のある所に道は開ける」ということを、光葉同窓会や後輩の皆様を知っていただきたいと思います。

私の卒業論文指導教授はNHKの英語番組で大人気を博した井上逸兵先生でした。先生のモットーは「楽しく学びましょう」ということで、楽しく卒業論文を完成することができました。卒業論文評価はS。総合面接試験評価もSをいただき、これからも頑張ろうという大きな励みになりました。ちょっと宣伝になってしまいますが、井上先生は、現在、「いのほた言語学チャンネル」をYouTubeで配信しています。興味ある方は、チャンネル登録してお楽しみください。たくさんの「へえ～」が詰まっています。この年齢になってこのような経験をすることができたのも、英語の勉強を頑張ってきたからです。

私は、40代で英検一級に合格してから英語にますます興味がわいてきて、ついに、慶應義塾大学で学ぶという、とてつもなく素晴らしい機会に恵まれました。人生はほんとに大変なことばかりですが、その辛いことを乗り越えるためには、一つでもよいので、興味のあることを追求し学び続けていくことだと思います。それが人生に豊かな彩を与えて、困難を乗り越える大きな力になります。

また、一つのことを掘り下げていくと別の方向に思わぬ波及をして、楽しくて新しい展開を見ることがあります。私の場合は読売新聞や産経新聞にエッセーを投稿して掲載されるという、想像もしなかったことが起きました。私の名前をパソコンなどで検索しますと、読売や産経に掲載された私のエッセーがいくつか出てきます。もしよろしければお読みください。光葉同窓会のみならずだけでなく、後輩たちが今の私の状況から何かを学び取り力を得てくれたらうれしいと思い、以上のことを書かせていただきました。 【End】